

国語科 [2018.6.21 up]

書画カメラを使っての拡大表示

キーワード 資料提示 ワークシートの書き込み例の提示

(写真1)



だまし絵をいくつか提示し、2つの絵を見るにはどうしたらよいかを考え、発表した。そのときに個人にも印刷したプリントを渡すが、遠くから見るなどの見方を実践するため、また、前に出て全体に説明するために黒板にだまし絵を大きく表示した。生徒が前に出て、そのだまし絵の見方を説明するのに拡大表示した図を指で指しながら説明し、発表者の話を聞いた。(写真1)

(写真2)



ワークシートを全体に大きく表示した。今自分の手もとにあるワークシートのどの部分をやっているか、どの部分を記入したら良いかを確認できる。黒板にワークシートと同じようなものを書いたものを生徒が見て記入するよりも、視覚的に分かりやすく生徒が確認できるという点で便利である。今回の授業ではデジタル教科書は使用しなかったが本文を全体に表示することで読んでいる箇所を確認することもある。(写真2)

(写真3)



ワークシートを使うときにその場で書き込みながら生徒に拡大して提示した。生徒の発表で出てきたことをその場で書き込むことで今勉強していることや記入する場所や内容が分からない生徒に対して、効果があるように感じた。(写真3) 今後は、拡大して提示するホワイトボードに電子黒板用のペンを利用して、ポイントが分かるようにしていきたい。

理科 [2018.7.24 up]

電子黒板と TV の活用 ～私が授業でよく使っていることなど～

キーワード デュアルディスプレイ タイマー 動画作成 タッチパネル



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)

授業でよく使っている ICT 活用方を記述します。

まず、使用している理科室は普通の教室より横に広いので、電子黒板だけでは全ての生徒が注目しづらい状況である。よって、大型モニター (TV でも可) を用意し、写真1のように両サイドから提示できるようにしている。そのためには、(写真2)のような HDMI スプリッターを用意し、映像を分配し、5 mHDMI ケーブルを使用している。授業では、(写真1)のようにタイマー、パワーポイント、デジタル教科書の使用をメインとしている。

ガスバーナー使用の練習では、事前に動画を作成し、連続再生、スロー再生を使用してお手本を提示することができた。(写真3)

また、タッチパネルを準備し、授業の記録をタッチするだけでカウントしていくエクセルを作成し、スムーズに評価が行うことができる表を作ってみた。(写真4)

👉 ポイント

生徒や環境に合わせて ICT は使っていくもので、考えて効率よく使っていくと良いと思う。そのためには準備が必要であり、その準備に見合った効果があるかを検討する必要がある。今回の動画やエクセルの評価表は効果のほどがわからない。

家庭科 [2018.6~7]

「iPad を活用した情報収集と情報の共有」

キーワード : iPad インターネット 検索 共同作業 発表



(写真 1)



(写真 2)

カルシウムを取られる献立を考えよう (2班)

献立	食材	カルシウム量(mg)
朝食	牛乳	110
	味噌汁	39
	ヨーグルト	60
昼食	牛乳	110
	ピザ	157
間食	煮干し	220
夕食	しらすの飯	140
	味噌汁	39
	小松菜サラダ	51
	合計	926

(写真 3)

家庭科の授業を使った二つの例。

「インターネットで情報収集をする」

- ① 2年生の被服で落としにくい汚れの落とし方を検索し、レポートにまとめた。サイトごとに汚れの落とし方の説明に違いがあり、互いに比較することでより詳しい情報が集まり、生活に生かせる学習となった。
- ② 3年生の保育実習体験に備え、身近な材料を使ったおもちゃの作成をインターネットで情報を得ながら行った。ほとんどが写真や動画で説明されているので作品のイメージがわきやすく、作業手順もわかりやすいので、予想以上に早く完成し個性的なよい作品を作ることができた。

「班ごとに計算表をつくり、発表する」

- ① 1年生の栄養素の学習の中で、一日に必要なカルシウムをどの食材でどのように料理し摂取するかを班ごとに考える授業を仕組んだ。各班に計算表(山中 ICT 指導員制作)を入れた iPad を持たせ、班ごとに話し合いながら表を完成させた。最後にホワイトボードに各班の計算表を写し出して発表し、互いに調べたことを共有した。4~5人班なので、ややもてあまし気味人がいたのが課題。

ポイント

いかに取組の必要性を感じさせ集中させるか。発表の仕方を効果的にするか。

技術・家庭科（技術分野） [2018. 6. 21]

iPad を利用したのこぎりびきの動画撮影と比較

キーワード iPad 動画撮影 プロジェクター 比較



(写真 1)



(写真 2)



(写真 3)

前時の授業では、のこぎりびきの仕方を学習し、練習材を使つてのこぎりびきの練習をしている。感想文の中には、「線に沿つて切れなかった」「切断面が斜めになった」「切断面がガタガタになった」など、いくつかの失敗を経験したようであつた。本時の授業では、練習材を使つてのこぎりびきの姿を撮影・視聴し、お手本の動画と比較検討することで、正しいのこぎりびきの仕方を習得することを目指した。

各班（3人班）で、実践する人・撮影する人・材料を支える人に分かれ、練習材を切断する動画を撮影した。これをローテーションし、全員の動画を撮影した。（写真1）

その後、お手本の動画をプロジェクターを使ってスクリーンに映し、視聴した。（写真2）

お手本の動画は、繰り返し再生にし、生徒は自分たちの撮影した動画と見比べながら、お手本と違う部分を探し、ワークシートに記入した。（写真3）

ワークシートに記入した事項をもとに、自分が気をつける部分を再確認し、最後にもう一度のこぎりびきを行った。

👉 感想

iPad の動画撮影・視聴は生徒にとってとても容易であつた。自分の姿を客観的に見ることができ、実践中に気付きにくいことも、動画視聴で気付くことができたようである。